

様式第6号(第6条関係)



平成29年4月27日

安曇野市議会議長 濱 昭次 様

会 派 名 政 和 会

代 表 者 平 林 徳 子

経 理 責 任 者 松 枝 功



平成28年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
政務活動費	540,000	90,000円×6名
合 計	540,000	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
調査研究費	280,452	11/9, 10 尾道、岩国市視察研修 3/21, 22 真岡、茂木市視察研修
研 修 費	259,548	2/9 東京、地域科学研究会に参加研修 3/26 東京、市民と議員の交流会議に参加研修 (交通費 37,040円の内 36,988円を充当)
合 計	540,000	

2 収入支出差引残高 0 円

別紙

政務活動実施状況

活動名	先進地視察研修	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	先進的な取り組みをしている自治体や NPO 法人を視察研修し、目的事業の考え方や進め方など実施状況を学び、我が市に活かせるか検討の基礎にするため。	
活動の概要	日時	平成 28 年 11 月 9 日 (水) 午後 1 時 00 分から午後 3 時 00 分まで 平成 28 年 11 月 10 日 (木) 午前 10 時 00 分から正午まで
	研修先・主催者等	NPO 法人尾道空き屋再生プロジェクト (広島県尾道市) 岩国市 環境部 焼却施設建設事務所 (山口県)
	報告内容・実施したこと。	別紙のとおり
	まとめ (感想・市政に活かせること等)	<p>1 尾道市空き屋バンク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単に空き屋をどうするかではなく、地域が持っている文化を大事にしていくには「不便を楽しめる人」が移住できるように考え、移住を考える人の目線に立った詳細なサポートを工夫しているところが素晴らしい。 ・最近、空き屋だけでなく空き地の再生として少ない空き地に公園(草取りなど会員が行う)を造り、子どもとお母さん方の交流の場づくりも取り組んでいて、地域のコミュニティづくりに繋がる事業などを中心にしていることが素晴らしい。 ・現状を詳細な分析をすることが大切で、単位住みやすい地域でなくても不便さを理解していただく工夫やサポートメニューを多くすることも進めるポイントと感じた。 <p>2 岩国市ごみ焼却施設整備運営事業 (建設中)</p> <p>岩国市のごみ焼却施設整備事業は、ごみ焼却施設と最終処分場が隣接していること、セメント産業との関わりで最終処理物がわずかであることなどであるが、穂高広域施設組合の今後の事業運営に参考にすべき点が多々あった。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	栃木県真岡市ならびに栃木県茂木町役場、茂木町有機物リサイクルセンターおよび道の駅もてぎ（㈱もてぎプラザ）において調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	先進的な取り組みをしている自治体を視察研修し、市に生かせるか検討するため	
活動の概要	日時	平成29年 3月21日（火）から 平成29年 3月22日（水）まで
	研修先・主催者等	・栃木県真岡市（議会）役所（栃木県真岡市荒町 5191 番地） ・栃木県茂木町役場（栃木県芳賀郡茂木町大字茂木 155 番地） ・茂木町有機物リサイクルセンター（茂木町大字九石 641 番地 1） ・道の駅もてぎ（㈱もてぎプラザ）（茂木町大字茂木 1090 番地 1）
	報告内容・実施したこと。	○栃木県真岡市 ・ものを大切に作る都市宣言について ・北関東自動車道、鬼怒テクノ通りとの関わり、真岡第5工業団地について ○栃木県茂木町 ・茂木町有機物リサイクルセンター美土里館について ・道の駅もてぎについて ・自転車歩行者専用道路について
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	○栃木県真岡市 「ものを大切に作る」意識が環境リサイクル等に向いている。市民への普及行動（PR）が参考になった。産業団地誘致には、高規格道路等の交通アクセスは第一条件と感じた。 ○栃木県茂木町 茂木町有機物リサイクルセンターでは、荒廃の進む森林の落ち葉や間伐材・竹を利用し、里山の景観・環境を保全し、自然と人との共生を目指した取り組みをしていた。市内の狭い通学路等対策として、自転車歩行者専用道路は参考になった。道の駅もてぎは、常に変化を求め、何でもやる地域密着型の総合商社であった。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	研修会参加 「スポーツ観光型地域振興の戦略と方策」	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	<p>人口減少社会を迎えるにあたり、一つのまちづくり手法としてのスポーツ観光型地域振興の戦略と方策について学ぶこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ都市戦略による地域経済・コミュニティの活性化 ・スポーツ庁の取組みと観光・健康・交流まちづくり ・施設の有効利用とこれからの指定管理者制度 	
活動の概要	日時	平成29年2月9日(木) 10時00分から16時50分まで
	研修先・主催者等	研修先＝東京都千代田区「日本教育会館」 主催者＝地域科学研究会
	報告内容・実施したこと。	<p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり手法としてのスポーツ都市戦略の活用 ・スポーツによる地域活性化 <p>事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掛川市「総合型スポーツクラブ運営と地域資源の有効活用による地域活性化」
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による経済消費をスポーツイベント開催によって補うことができること。 ・スポーツを社会教育としての見方だけでなく、行政の全ての分野でまちづくりの観点から経済に関する取組みが可能であること。 ・スポーツ教室を委託することも可能であること <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミッションの必要性を感じた。 ・スポーツイベントは、教育、観光、健康、など各部署で実施が可能でまさにまちづくりの観点から企画部門の重要性が感じられた。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	研修会参加 「市民と議員の条例づくりの交流会議2017」	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	新公会計制度と議会の予算・決算審査 —審議に納得していますか？市民に説明できますか？—	
活動の概要	日時	平成29年3月26日（日）13時から16時40分
	研修先・ 主催者等	研修先：東京都千代田区 法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎 主催者：市民と議会の条例づくり会議／自治体議会改革フォーラム／法政大学ポアソナード記念現代法研究所
	報告内容・ 実施したこと	人口減少・少子高齢化の中、限りある予算をいかに配分するか、優先順位をどう決定していくのかの説明責任、それを果たすための方策としての新公会計制度を学んだ。また、予算・決算の改革に踏み出した自治体議会の事例を学んだ。
	まとめ（感想・市政に活かせること）	これまでの現金主義会計で把握できなかった資産（負債）、減価償却費等を、発生主義会計の導入、企業会計方式の複式簿記の採用により把握し、開示することで、市民への説明責任の履行、健全財政の方向性を見いだせる。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他の支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。